

分校だより

10月号

令和元年10月1日発行
埼玉県立けやき特別支援学校
伊奈分校
048-723-2201

支えてくれる人と一緒に

教頭 小谷 浩巳

9月20日からラグビーワールドカップ2019が始まりました。開会式に続いて、日本代表対ロシア代表の試合が行われ、日本代表がサポーターたちの期待に応えて30対10で勝利しました。

比較的身体の小さい日本人がラグビーで良い結果を出すことは難しいと以前から言われていましたが、合宿を積み重ねたことによる団結力とコミュニケーション力、持ち前の速さと器用さを生かしたパスワークなどによって、4年前のワールドカップからさらに力をつけて、今回の勝利につなげることができたのだと思います。

日本での開催ということで、日本代表の選手たちのこの試合にかける思いはとて強く、逆に緊張が非常に大きかったことが試合後のインタビューでよくわかりました。チームの中心選手の一人である田村優選手はこのように述べています。「10日間くらいずっと眠れなくて。勝たないといけないし、いろいろなことがのしかかってきて、早く終わってほしかった。緊張して死ぬかと思った。」

実際にロシア代表との試合での田村選手は緊張のあまり本来の力を出し切れていませんでした。そんな田村選手に勇気を与えたのは、キャプテンであるリーチ・マイケル選手でした。ゴールまで約45mの距離で相手が反則をした場面で、リーチ選手は、スクラムやタッチキックではなく、田村選手のペナルティーゴールキックを選択し、プレッシャーに向き合うよう田村選手に促したのです。この結果、田村選手は重圧をはねのけて見事ゴールを決めることができました。試合後に田村選手は「僕に勇気を持つチャンスくれた」とリーチ選手に感謝しています。

私たちも個人では力を出し切れないことがよくあります。周りで支えてくれる人、一緒に歩いてくれる人、励ましてくれる人がいるおかげで、目標を達成したり、困難を乗り越えたりすることができるのです。伊奈分校の児童生徒の皆さんにも「自分は一人ではない」ということを感じてもらえればと思います。そして、一步一步前に向かって進んでいてもらいたいと願っています。

【追記：この文章を書いた後、日本代表は素晴らしいチームワークで、世界ランキング2位のアイルランド代表にも勝利しました！】



♪♪ 芸術鑑賞会 ♪♪

9月27日（金）、伊奈分校の芸術鑑賞会が行われました。昨年同様、今年も「加治バンド」さんが、生演奏を披露してくださいました。近い距離での生演奏の迫力に、児童生徒のみんなも感激していました。また後半には、楽器体験として、演奏家の楽器を直に触れ、演奏の指導も受けることができました。



新しい先生を紹介します

初めまして！ 佐々木望美です。

9月17日から勤務になりました。

得意なスポーツは卓球です。

早く子どもたちと仲良く

なりたいと思っています。

よろしくお願いします。



10月の予定

○10月25日（金）小中学部・社会体験学習

*貸し切りバスで病院を出発し、加須市にある「埼玉県環境科学国際センター」へ行きます。

